

## 令和2年度早良ひまわりハウス事業報告

### 【事業概要】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染予防に注力し3つの基本方針のうち（１）一人ひとりの年齢や特性に配慮し、援助を適切かつ効果的に支援することを重視して取り組みました。

利用者の平均年齢が55歳となり、体調面での配慮がより必要となってきた中での新型コロナウイルス感染拡大となり、通院同行の増加、日々のバイタルチェックの強化、体力や身体機能への支援がより顕著になってきました。

短期入所については、受け入れが困難となり、緊急又は感染拡大時期を避けつつの実施となりました。既存のグループホームは引き続き巡回事業所と連携して安定した生活の維持に努めました。特定相談事業所は、自宅訪問が叶わない中、電話での対応が求められ、ご家族、各相談機関、サービス事業者等の関係機関との連絡調整を行いました。

以下、項目ごとにご報告いたします。

### 1 利用者の状況

項目	内容
定員（実利用）	15名（15名）
男女別	男性：8名 女性：7名
平均年齢	55歳（男性 54.9 女性 55.9）
障害の程度	A1（3名）A2（6名）A3（2名）B1（3名）B2（1名）
支援区分 <span style="border: 1px solid black;">平均</span>	1（1名）3（3名）4（7名）5（3名）6（1名） なし（1名） <span style="border: 1px solid black;">4.0</span>

### 2 職員の状況

管理者 1名 サービス管理責任者（管理者兼務） 1名

常勤職員 5名 パート職員 1名 夜勤職員 7名（シフト制）

世話人 3名（委託契約）

### 3 サービス支援業務の実施状況（共同生活援助事業）

#### 日常生活支援

入居者の皆さんの各自の自立度に合わせて大きく3段階に分けて支援を行っています。

- ① 自身で全行程行える場合は、職員は確認程度の支援。
- ② 力を発揮出来るところに行ってもらい職員が補完、支援行う。
- ③ 自身で行えない場合は職員が支援する。

#### （1）食事支援

材料は、業者による宅配を利用し、世話人が調理を行っています。一口大や刻み等身体面への配慮も行っています。

メニューについては、業者側の栄養士がカロリーや栄養計算したものです。入居者の誕生日や季節メニューを企画したり、イベント開催時にオリジナルメニューを提供しています。

加齢とともに嚥下機能が落ちていると思われる方が散見され始めました。医療機関と連携を取って対応しています。

#### （2）入浴支援

毎日入浴してもらうようにしています。障がい特性に配慮した入浴方法で支援してます。また、皮膚疾患の感染予防のため、浴室清掃、足ふきマット等はこまめに清掃、取り換えを行っています。転倒の恐れがある方には、浴室用介護チェアなどの介護用品の利用も行い、安全に配慮しながら支援を行っています。

#### （3）排泄支援

部分的、全面的介助を必要とする方が複数入居されており、身障者用トイレを使用しての介助を行っています。排便の間隔があいている方については職員間の連絡引継ぎ支援が途切れないよう配慮しています。

#### （4）健康に関する支援

毎朝、血圧検温測定を行いバイタルチェックで常に体調把握を行っています。体調不良時には保護者、事業所に連絡を取り状況によっては、通院などの対応をとっています。

また、服薬について家族、医療機関と連携をとり投薬管理を常時行っています。

(5) 衣類に関する支援

衣類着脱で支援を要する方が2名。季節に合わせた服装をすることが苦手な方が複数おられ、支援員と話し合いながら都度調整しています。

(6) 夜間支援

夜間（19:45～7:45）は、夜間専門職員により定時巡回や介助を行っています。ハウス1には主に看護師免許有資格者を配置しています。

4 短期入所事業

(1) 利用状況

月	利用者数 (人)	延利用日数	月	利用者数 (人)	延利用者日数
4月	2	7	10月	0	0
5月	0	0	11月	0	0
6月	0	0	12月	0	0
7月	2	4	1月	0	0
8月	0	0	2月	2	18
9月	0	0	3月	2	62

(2) 利用内容

令和元年に1床増床して実施しましたが、利用者数増加に至らず途中より1床減の2床で実施しました。感染拡大が収まらず、3密を避けつつの受け入れとなり、利用者なしの月が複数月ありました。また感染拡大が続く中で、ご家庭での緊急案件があった方2名の長期にわたる短期入所を受け入れました。

5 その他の取り組み

(1) 運営協議会

通常2回/年開催していますが、新型コロナウイルス感染拡大が止まらず残念ながら2回ともに開催できませんでした。

(2) 地域との関わりについて

地域の夏祭りが中止となり参加できませんでしたが、人権フェスタはパネル展示の形式で参加しております。地域の各行事が軒並み中止となり、交流が厳しいものとなりました。

(3) 防災・防犯について

これまでの火災避難訓練に加え、地震、水害の避難訓練を実施し、入居者の方への避難行動の習慣化と意識付けを行いました。

また、施設外周には、防犯設備として防犯カメラと防犯センサーを設置し、ハウス2には屋内の見守りカメラを増設して対策を講じています。

(4) グループホーム（外部サービス利用型）のバックアップ

3か所（今宿東、皿山、壱岐団地）各グループホーム巡回担当事業所との連携による状況把握や入居者や世話人からの要望などへの対応などを行っています。新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各物品準備と機材設置、健康状態共有をより密に実施しました。

(5) 職員研修について

サビ菅研修、高齢利用者支援における研修、いずれもオンラインでの研修に参加しています。

(6) 苦情受付状況

令和2年度は、地域住民及び関係者からの苦情はありませんでした。次年度も入居者の方の快適な生活環境作りに努めていきます。

(7) 休日余暇

感染拡大防止の為、外出での休日余暇は近隣の散策以外は実施できませんでした。室内で3密を避けつつ、ハロウィーンパーティー、クリスマスパーティー、節分を実施しています。

## 6 特定相談支援事業

### (1) 計画作成とモニタリングの実施と請求数

月	モニタ件数	計画件数	月	モニタ件数	計画件数
4月	19	59	10月	23	15
5月	22	18	11月	31	9
6月	16	16	12月	15	14
7月	26	15	1月	20	15
8月	35	16	2月	33	4
9月	22	24	3月	42	36

### (2) 受け入れ状況

専従の相談支援専門員2名を配置して知的障がい児・者の計画相談及びモニタリング・担当者会議を行っています。傾向として年度末にかけて計画作成数が集中しています。また、各区の基幹相談支援センターと連携（支援会議の参加）を図りながら、業務を行っています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、電話での対応がメインとなり、関係機関が集まっての実施はほぼ出来ない状態でした。